

5. 運動器チェック指標について

指標は、1名の利用者に対し20分程度の時間で実施可能なもの。また、リハビリテーション専門職だけでなく、鍼灸師、柔道整復師等の職種でも行えるものとする。

(平成30年度は、モデル地区(2地区)にて、65歳、70歳、73歳以上の奇数年齢の方を対象に、医療機関、介護保険事業所等でロコモ度テストを実施予定。)

	質問項目	はい	いいえ	
1		1	2	①
2		1	2	
3		1	2	
4		1	2	
5		1	2	
6		1	2	
7		1	2	
8		1	2	
9		1	2	
10		1	2	
11	靴下の脱ぎ着することができる	1	2	②
12	横断歩道を青信号で渡れますか	1	2	
13	最近、猫背が気になってきた	1	2	
14	昨年に比べて疲れやすくなっていますか	1	2	
15	片足で15秒以上立つことができますか	1	2	
16	2ステップテスト			③
17	立ち上がりテスト			

①設問1～10は、専門職が運動器の状態を把握するために指標となる問診項目

②設問11～15は、健康スケールと連動した項目

③設問16～17は、測定項目として設定する予定